

2009年6月15日
ドイツ レーゲンスブルク

ファイバーカップリングに最適なミニ・レーザ・バーを開発

オスラム オプトセミコンダクターズはファイバーカップリングに適したミニ・レーザ・バーを、910～1020nmの波長範囲にて提供します。小さい開口部から出射されたレーザ光は小さいファイバーコア径に対し、非常に高いカップリング効率を可能にします。サンプル出荷はまもなく開始され、量産は2010年はじめに開始されます。

ミニ・レーザ・バーは、新規のVLOC (Very Large Optical Cavity) エピタキシャル構造と独自のミラーコーティング技術によって実現いたしました。オスラム オプトセミコンダクターズ プロダクトマーケティングマネージャー Dr. Jörg Heerleinは、次のように語ります。「オスラムの新製品ミニ・レーザ・バーは非常に高出力かつ高効率ですので、コストパフォーマンスのよいファイバーカップリング用のレーザダイオードを求めのお客様に対して解決案を提示することができます。」

また、ミニ・レーザ・バーは、シングルエミッタの利点と従来の1cmのバーの利点を併せ持っています。ミニ・レーザ・バーは、コストパフォーマンスがよく、耐久性があり、小型サイズのため、様々なアプリケーションに対応できます。従来のファイバーカップリング用のダイオードレーザシステムとは対照的に、よりコストパフォーマンスのよいビーム形成コンセプトを使用できるようになりました。これに伴うシステムコストの低下は、レーザダイオードによる材料加工用レーザシステムがさらに魅力的となる主要因となるでしょう。フィルファクターは10～20%でウォールプラグ効率が最高65%のミニ・レーザ・バーは、ファイバーレーザの励起用としての用途に加え、ダイレクトレーザとしてのマーキングや微細溶接等の用途にも使用されます。

ミニ・レーザ・バー SPL BFシリーズは、フィルファクター10%でSlow axisは7°未満(この値は95%出力に適用)、100 μmのエミッタ幅でエミッタ当り8Wを出力します。長寿命に応じた最大出力は、100 μmのエミッタ当り約12Wです。お客様のご要望によっては、新技術に基づいてカスタム仕様をお届けすることもできます。



写真提供: オスラム/HIGHYAG

<http://www.osram-os.com/press>

オスラム オプトセミコンダクターズについて

オスラムはシーメンスのグループ会社で、2大照明メーカーのひとつです。その全額出資会社であるオプトセミコンダクターズは、ドイツ・レーゲンスブルクに本社を置き、可視光・赤外発光ダイオード、高出力レーザーダイオード、センサを取り扱っています。生産拠点をドイツ・レーゲンスブルクとマレーシア・ペナンに、北米の営業拠点をアメリカ・サニーベールに、アジアの営業拠点を香港に置き、世界中にセールスオフィスがあります。2008年度は4,600人以上の従業員を擁し、売上は5億2900万ユーロを超えました。

<http://www.osram-os.com>

このリリースに関する問い合わせ先:

オスラム株式会社
オプトセミコンダクターズ
広報

Tel: 045-313-1900

Fax: 045-313-1901

E-Mail: marketing_os@osram.co.jp